

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	本川越駅前通線(用地)事業						継続								
コード	24	-	69	-	05	-	00	予算事業名	本川越駅前通線(用地)						
担当部署	建設部		用地課		用地第二担当		予算事業コード	会計	10	款	08	項	04	目	04

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務			義務
基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち		実施計画事業名	本川越駅前通線		
方向性(節)	2節	交通ネットワークの構築		個別計画等の名称	なし		
施策	1	道路交通体系の整備		当事業に関連する事務事業	なし		
細施策	2	地域の活動を豊かにする幹線道路の整備					
事業実施の根拠となる法令・条例等	都市計画法						

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	道路及び道路施設を利用する通行人と、道路沿線に居住する住民に対し歩行者の安全確保、交通渋滞の緩和、良好な住環境の形成をもたらしたい。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	道路予定地の用地を取得するため、関係地権者と交渉を行い用地買収、物件補償契約を締結する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額						500	
(25年度予算額大幅増/減の理由)							
事業費	A					500	22,500
人件費	B	0	0	0	0	7,337	7,337
総コスト(C=A+B)		0	0	0	0	7,837	29,837
正規職員(1年間の従事人数)						1.00人	1.00人
臨時職員(1年間の従事人数)						0.00人	0.00人
国県支出金	D					0	0
その他特定財源	E					0	0
市の財政負担(=C-D-E)		0	0	0	0	7,837	29,837

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果	用地取得率	%	0.0	25.3	82.2	99.2	100.0	26年度 100.0
	指標の定義・説明		道路予定地の取得率					
	指標の定義・説明							年度
	指標の定義・説明							年度
	指標の定義・説明							年度

指標に基づく評価

平成25年度より用地課設置に伴い平成24年度の評価は実施しない。

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
一部において事業に対する未同意者があり、今後、引き続き事業に対する協力が得られるよう努めていく必要がある。 当初事業予定者の用地買収は平成25年度で完了したが、前認可区域の未契約者から用地買収を行い完了予定である。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
具体的な調査実績はない。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
良好な道路環境及び住環境が形成されず、魅力ある快適なまちづくりが図れない。	

# 平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		建設部				用地課	用地第二担当
事務事業名称		24	69	05	00	本川越駅前通線(用地)事業	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	廃止		用地取得事業完了予定により廃止する。			